

平成15年度第2回岡山市総合政策審議会保健・福祉部会における主要な意見

1 日時 平成15年9月25日(木)13:30～15:00

2 場所 岡山市勤労者福祉センター 5階 体育集会室

3 出席者 別紙委員名簿参照(10名出席)

4 傍聴者 無し

5 会議の概要

岡山市子育てアクションプラン(仮称)について自由に意見をいただいた。

6 主要な意見

子どもが病気やけがの時は親が世話することが大切であり、子育て、仕事の両立支援として最も望まれているので、安心して休暇がとれる制度が必要である。

行政は全ての企業に仕事と子育て両立支援の協力を依頼すること。子育て支援企業宣言をしてもらう。

男女共同参画の子育て推進のためポスター配布など民間企業等への啓発を進めること。

乳幼児健診、育児相談を充実し、親が子育てに関する様々な知識を得られるようにする。

保育園と幼稚園のアンバランスを見直し、幼稚園施設活用を進めること。

健全な子どもを育成する地域の力が必要であり、子育て、介護などあらゆる事に関わってくる地域共同体の再構築を進めていかなければならない。

児童虐待防止をプランに盛り込み、支援ネットワークづくりを進め、子や親のケアを充実させること。

児童クラブのプラス面を重視し、設置箇所数、保育内容、専門職員配置、身分保障など充実させること。

子育て支援は母親支援であると同時に、子どもの育ちの保障であるということを忘れてはならない。

産むことを決定できる性として子育てに責任があるという母親教育が必要である。

子育ての伝承がなくなっているので、学習機会が必要である。

子どもを産みたいと思える環境づくりが必要である。

子ども中心の環境整備を重視し、行政も市民も岡山市で生まれてよかったという岡山市をめざすこと。